

他人事ではない、東日本大震災

津波 が海士を襲ったら・・・。



昭和58年、保々見漁港での津波被害の様子

昭和58年(1983年)5月26日11時59分57秒、秋田県能代市西方沖80kmの地点でマグニチュード7.7の大地震が発生しました。それが、100人以上の犠牲者を出した日本海中部地震です。

当時日本海側で発生した最大級の地震であり、秋田・青森・山形の日本海側の津波は10mを越え、その津波は遠く隠岐海域へも14時半頃に到達しました。

東日本大震災では、マグニチュード9.0の巨大地震に伴って発生した大津波が太平洋沿岸を襲い、漁船、港湾施設、宅地や農地を飲み込んで甚大な被害をもたらしました。実は海士でも、28年前、「日本海中部地震」による津波で大変な被害がでたことがありました。「**10の島でも津波は起りますのだぞ!**」

この特集では、当時の被害を振り返り、今後の対策を皆で考えるきっかけにしたいと思います。

* * * * *

当時の広報海士には「本町でも高さ約2m程の津波に襲われ、幸い死者・行方不明者はありませんでしたが、菱浦・保々見両漁港を中心に家屋や漁船、漁具などに大被害を受けました。」と記されています。町内の被害状況は、全町で床上浸水60戸、床下浸水170戸。農業、水産、土木、商工関係の合計被害総額は2億6139万円にも上りました。



(→)菱浦の道路をドラム缶が流れています…



(←)(↓)こちらも菱浦。海のように





(→)豊田。今にも船が乗り上げそう
(←)知々井。転覆した船を引張り中!



写真提供と、当時のお話を聞かせて下さったのは、菱浦在住の福山昭次さん、皆子さんです。

「海の底が見えるまで水が引いてから、次の波が来た。2回目の波がひどくて、一瞬間にすごい勢いで水が押し寄せてきた」「畳を干して塩水を汲み出すのが大変だった!」と、当時を振り返ります。



福山さんご夫婦

福井小の裏にお住まいの大野としさんも、当時の写真を提供して下さいました。

「津波なんて初めてで、ホントに驚きました。湾の中はゴミだらけ。辺りは水浸し。西あたりの田んぼにオコゼが泳いでいたんですよ!」

以来28年間、海士では大きな津波は起こっていません。しかし大野さんは「東日本大震災の被害を見ていたら、やっぱり怖くなりました」と言います。「小学校の避難経路は大丈夫?」「リュックサックに備蓄品を準備しておこう」と、防災意識が急速に高まったそうです。

また、皆さん口をそろえるのは、「一人暮らしの場合は特に心配」ということ。「逃げる訓練も大事だけど、避難誘導の練習をしてほしいです」



大野さん

教育委員の阿部裕志さんは、復興支援ボランティアのため何度も被災地を訪れています。5月、阿部さんの活動報告会を行った際は、関心の高い町民の方が20人ほど集まり、海士での津波対策について語り合う場となりました。

「普段から避難経路を把握して、逃げ方を訓練しておくことが大事だね」、「家督山へ上がる道は大切だ」、「実際に海士が津波に襲われたとき何ができるかをきちんと考えておくことが、いま自分たちができる一番良いことではないか」
体験したことのない大災害を自分ごととして考えるのは難しいですが、島の安心・安全は自分たちで作る、というつもりで、町全体で防災意識を高めていきたいものです。

安心・安全のための津波対策

海士町は、県の地域防災計画との整合性をはかりながら、「海士町防災計画」の見直しに着手しました。

●避難先と避難経路

これまでの予想をはるかに超えた波高10mの大津波を想定して全面的に見直します。一次避難所には「いち早く避難できる高台」を設定し、二次避難所は、住宅等が流されたり浸水で住めなくなった場合にも仮居住できる場所と考えています。津波の波高想定10mならば20mまでの安全標高は確保し、その標高以上の施設を二次避難所に充てる予定です。

避難経路については、自動車の使用も含めた現実的なパターンでの設定を検討中です。目立つ看板を立て、日頃から意識づけに繋げることも考えられます。

●災害時要援護者台帳

高齢者などの弱者のサポートは最重要課題です。台帳登録者には、1人につき概ね3人が援護することになります。健康福祉課では随時、新規登録者と脱退者の更新をかけており、各機関(総務課、各区、民生委員、消防署)にも台帳を設置しています。

●防災訓練

土砂災害等を想定した避難訓練を毎年行っておりますが、今年には特に大津波を想定した内容で、全町一斉・全町民を対象に行います。秋に実施予定です。

●災害時の備蓄

国民保護計画では市町村においては全住民の1日分(6、900食、水4・6t)の備蓄を行うこととしておりますので、これを基準に整備する考えです。

お問い合わせは 消防防災係 2・0113(担当 高橋)